特1
昭
3407

本草圖譜

毒草類 一二

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407
ガラス使用

本草圖譜

毒草類

特 1
3407

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

特1-3407

本草圖譜 巻之廿一

東都 岩崎常正 著

毒草類一

大黄（だいおう）

とも漢種の大黄とさすてとるに非（あら）ず

おかし

本草和名（ほんざうわめう）延喜式（えんぎしき）形狀（かたち）羊蹄（やうてい）の一名（いちめい）と訓（よ）す大（おほい）なるものゝ名（な）なりと雖（いへど）も猶（なほ）考（かんがへ）て定（さだ）むべし

シヤリンボル 朝鮮

ラバルベル蘭

ラバルベリユム羅

舶

享保（きやうほ）年中（ねんちう）漢種（かんしゆ）渡（わた）り處（ところ）〻〻（どころ）に培養（ばいやう）す春月（はるつき）宿根（しゆくこん）より生（しやう）ず葉（は）は桐（きり）の如（ごと）くして圓（まろ）く尖（とが）り夏月（なつつき）莖（くき）を抽（ぬき）ず高（たか）さ四五尺（しごしやく）莖（くき）紫色（むらさきいろ）を帶（おび）ず稍（やや）偏（へん）なり形（かたち）羊蹄（やうてい）に似（に）て小（ちいさ）く碎（くだ）けの黄緑（うすみどり）のこと

昭和十五年 帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

開き後三度ある實と結ぶ形蒼茄麥の如し葉似たり蕃苣と去るべし然らざれい根輕虛なり二月頃蘆頭ごとかけて切裂きて栽べし根の形高陸より似て皮赤黒色肉黄赤色にして黄汁あり數年を經るもの十月より握採初冗より大釜を以て蒸すこと三五時日に乾中頃火上に尾を置上より載焼て又日に晒し數年貯れい漸味去て能腸胃を利す漢種大黄ハ蕪頭の象如く根如芋大者如盌長一二尺中畧市有陳青紅俱蒼麥苑者上蓋青繁多節十許ごとに是なり瘻頌説ところの蜀大黄ともに舗して牛舌大黄又和大黄と呼又縄空眼緊と名ハツナギ大黄と呼よ秦隴來者謂之土番大黄正月内生青葉俱乾麻ごま大者

一種ヲロシヤ大黄

○荷蘭の書 大黄二種の圖あり一ハ歐羅巴洲より出ると云物ハ即漢種大黄なり又一ハ魯西亞より出ると云物ハ形狀漢種はぶてぐきれこみことごとく

宇田川榕菴ずるる林娜斯の書ヨリレウム 羅 敏 ラバルベル 蘭 岡

第三種ハレウムパルマツムとハ掌狀の義ニテ葉の形掌の如きを云ふ莖ハ直く或ハ支那の長城韃靼と境を接する處より発す莖高さ八尺許穗ヲなして圓色の花を開く葉長さ二尺許莖ニ稜色ありて紫斑あるもの多し葉ハ三ツ或ハ五ツに切れて卷狀あり根ハ塊ヲなして下利の効常の大黄と同じ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

開き後三稜ある實を結ぶ形蒼耳の如し苗莖と云ふ
べし然らざれい根輕虛なり二月頃蘆頭を切て栽べし
根の形高陸に似て皮赤黒色肉黄赤色にして黄汁あり
數年を經るもの十月に掘採切片にし大釜を以て蒸すこと
三五時日に乾中頃火上に載焼て又日に晒すべし
數年貯れい澁味去て能腸胃を利す漢種大黄ハ蕪頭の蕊
に秦隴來者謂之土番大黄正月内生青葉侶苑麻ごま大者
如扇根如芋大者如盌長一二尺中畧市有青紅侶蒼耳苑者上
莖青紫色節節ごとに是なり羅頌説ところの蜀大黄と云舗
まて半截大黄と入れ大黄と呼又繩穿眼懸ところハツナギ大黄と呼よ

一種ラワシヤ大黄

又荷蘭の書大黄二種の圖あり一ハ歐羅巴洲より出ると云
物ハ即漢種大黄なり又一ハ魯西亞より出ると云物ハ形狀漢種
に似て但葉の周りに花文ありて苑花ちゑんのごとし北物下利
の切強しと云未和漢ともに此種あるものとを聞ず

種ラバルベル

種ラバルベル

一種 土大黄 蘿蔔

からすのあおら 涼菜 布袋

朝鮮大黄

信州大黄

信州より出つ春宿根より生ず形状酸摸も酸摸と同一根ハ
もぐ四五寸長さ一尺餘莖紅色花實も
唐大黄に似て長く赤黄色黄汁あり是亦瀉利の功あり

商陸 いてまき 式 やまごぼう 江戸

春宿根より生ず葉ハ萇菪ごとくに似て潤大莖肥大にして
圓く夏月高さ三四尺枝を分ち岐より穂を
ぬきんでて後實を結ぶ一房
八九實團りつく熟すれハ紫黒色光澤あり根の形蘿蔔法
の如くにて岐多し水腫を用て功あり鐵を忌む
なして苦味なし又武州大嶽山中より形状同して但實一蒂一
子ありて龍葵の如きものなり

一種 紅花の物

下野日光山ニ有リ葉高陸より狭く長く萱萢ところゝ
花淡紅色實ハ高陸と同し一根も又同し野州ニそハ此物の
葉ニ採菜とナし食ふ別ニ毒ありさと聞ゝ集解雷斅云
一種赤昌苗葉絶相類不可服之又通志ニ高陸一種毒者
爾雅譜之薏苡芣と有ハ又別種ニて下野の物ニハ非ルべし
○尾州氷室民日老定尾峠の道ニ有る紅色の高陸ハ茶ハ紅色開けハ白色
濃州大井より中津川く行道ニて紅色の物と見ゝとゝり

狼毒　ヒンポウゴラ

防葵　岩井戸ぢん　五島むろ

豆州相州房州等の海邊ニ生ス葉ハ牡丹ニ似て粉綠色三四年
を經ものハ莖と抽して頂ニ傘状と布て小白花咲生ス
當歸花の如く實ハ羌活の如し一根も羌活ニ似て蓋頭ニも
乍ら古ハ人參ニ充實しと云ふ説ありかくて人參の僞ニ非ず
又防風ニも僞る用ゆべし

一種　短葉の物
一種　大葉の物

狼牙　みつもと　よごいろさ木曽信州　ごくさ同上

野州日光山足尾及木曽山中ニ多シ　宿根より生ず　葉ハ蛇苺ニ似て長く　毫ニテ　ニ尖　きんみ　莖葉毛茸ノ夏月　荷蘭

宇田川榕菴ずるどトニースの説ニ雌雄二種あり雄のハ葉　潤く白花を開き実ハ林檎ニ似て小く黄色味甘く香氣あり　根長大二ツ又ニツ三ツ列裂なり雌のハ葉狹く深緑色なり此物　麻酔ある毒あり　根皮を用ゆ実ハ毒弱し　根ハ下利す多服ハ毒ニ中て死す少し服されい死體と下し月經ニ通ず

と云常正楼するニ此物形狀狼毒ニよく似たり

蘭茹　エウホルビヤ　荷蘭

處ニ薬圃ニ栽正三月宿根より生ず高さ二尺許葉ハ水楊ニ似て軟ニ又大戟ニ似て長大圓ニ莖緑色葉ハ楕圓の葉間より小枝を分ち各小葉をつく頭ニ三四葉對生て四辨の小き紅黄色の花ありて後實と結ぶ大戟實ニ似て稍大皮ニ疣瘡あり　根ハ蘿蔔ニ似て短く皮黄黒色肉黄色葉根ともニ白汁ある此物字倭年中ニ狼毒と名け渡る狼毒ニ非ず

一種　のうろ　豆州

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号　特1-3407　ガラス使用

狼牙　みつもと　木曽（信州）　ごくくさ 同 上

野州日光山足尾（甲州）及木曽山中ヨリ多シ一宿根ヨリ生ズ葉ハ蛇苺ニ似テ長ク龍芽菜（きんみづひき）ニ似テ三葉ヲナス葉毛茸（けぶか）アリ夏月莖（くき）ヲ抽（ぬきん）デテ直立（ちょくりつ）シ枝（えだ）ヲ分（わか）ツ五瓣（ごべん）ノ黄花（きばな）ヲ開ク形蛇苺（へびいちご）ニ似タリ後實（このみ）ヲ結ブ鰹腸草（かつおぐさ）ノ實（み）ヲ小ナラシメ熟（じゅく）スレハ黒シ根ハ龍芽菜（りゅうげさい）ニ似タリ充根頗（あてねすこぶる）獣毒（けものどく）アリ木曽山中ニテハ「ずゞ」ト稱（しょう）シテ大（おおい）ニ忌（いむ）ムおすとい毒（どく）ともなり和名欽（わみょうきん）ニこまつるぎと訛（なまる）一古人大葉（おおば）のだいさんさうと充（あて）たれ共（ども）穏（おだやか）ならず

蘭茄　エゾホルビヤ（蝦夷蘭）

處（ところ）ニ薬園（やくえん）ニ載（うえ）ル正三月宿根（しゅくこん）より生（しょう）ず高（たか）さ二尺許（ばかり）葉（は）ハ水楊（やなぎ）ノ似（にて）テ軟（やわらか）ニ又大（おおい）ニ皺（しわ）多（おおい）シ互生（ごせい）ス長大圓（ちょうだいえん）ニ蓋（ふた）ノ密（みつ）ニつく梢（こずえ）の葉間（はのあいだ）より小枝（こえだ）を分（わか）ち各小葉（かくしょうよう）ヲつく頭（こうべ）ヲ三四垂（みよつたれ）生（しょう）ず四瓣（よつべら）の小（ちいさき）キ紅黄色（こうおうしょく）の花（はな）ありて後實（このみ）を結（むすぶ）大（おおい）ニ（微中に三つの隔あり）似（にて）稍大（やや）ニ疣（いぼ）ヲ乱（みだ）ス根（ね）ハ蘿蔔（だいこん）ニ似（にて）短（みじか）く皮黄黒（かわきいろくろ）色肉黄色（にくきいろ）葉根（ねは）ともニ白汁（しろきしる）あり（此物（このもの）子（こ）俗（ぞく）年中（ねんじゅう）ニ狼毒（ろうどく）と名（な）け渡（わた）る狼毒（ろうどく）ニ非（あらず）

一種　のうろ　豆州（伊豆方言）

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

田方郡江濱邊及天城山麓雄鹿嶋ニ多シ
形狀前種の如くすこし但初生より紅色
根亦同じ

一種　草茄　白茄　さとうなし　山城　やぶそだ　江戸

田野下濕の地ニ多シ　正三月宿根より生ず形狀茄ニ似て
莖黃色高さ二尺許夏ニ入ハ苗枯て根ハ枯ず根の形大
指の大さ長さ三寸横生ス一年一節あり葉根皆白汁
あり水蠱脚氣ニ用て甚功ありとぞ

一種　形狀同して但葉圓くさりのごとく
蒼末ニ似たり

大戟　えやひとろさ　武蔵

種類多シ　今紀州大戟を以て上品とす　淡路土佐筑前紀州播
州等の海邊石間ニ生ズ岩大戟と云　十一月頃宿根より生ず莖紅
色葉ハ薺苨ニ似て狹く粉綠色　春夏の間高さ二三尺揃ヒ
枝ニ分ち形薺苨ニ似たり實山椒の大さ疣ありて莖葉白汁
あり根黃白色すこし長く軟なり時珍の説ニ北方綿大戟色
白其根皮柔敞如綿と云ニ是なり

一種　ちとび大戟

武州多摩郡大箕谷邊ニ生ず　正三月採ニ生ず

甚紅色長ケ八綠色ヲ綴ス葉ハ柵ヲ似テ歯ナク花實ハ同ト根赤褐色ニシテ軟ナリ肉渋黄色味薬ニ
ス此時珍ノ説ヲ杭州ニテ大戟為上ト云是ナリ

一種　カラタチグヒ江戸　ヨツ谷ノ地ニ生ス葉深綠色ニシテ根ニ岐多ク硬ニ
諸國山陽ノ地ニ生ス葉深綠色ニシテ根ニ岐多ク硬ニ
此時珍云處ノ上大戟ニシテ下品ナリ　享保年中ニ渡ル
唐種大戟ヲ形似上大戟ニ同ト雖モ下品ナリ

一種　トゞクツミ　小倉堤ニ生ス大戟ニ葉細小ニシテ一根ヲ叢生ス
京ノ

一種　江州伊吹山ニモ多ク大戟ニ似テ小ニシテ花ヲ稔スル大戟有リ是ナリ

澤漆　ヤヒトヨリ　和名
漢以後弘景及日華子等ハ大戟ノ苗ヲ澤漆トス時珍ノ説ニ本草支寶蘋論等ノ書ニ從テ猫兒眼睛草ト以テ
澤漆トス今ニ從ヒ一名猫兒睛　牧荒本草ニモ云和名スゞ
ありぢ名ニハ一名きつねのすゞ後ニモ云冬月苗ヲ生ス田野ニ多シ一葉ハ馬蓮葉ニ似テ粉緑色苗初地ヨ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

擰て春月高さ一尺許梢ゟ五七枝と分ち傘の如く頂ゟ四
辨緑色の小花と開き後小緑子と結ぶ夏月苗根皆枯る

甘遂　あふちだい　江戸

武州道灌山自生多し春月宿根より生ず一根叢生し
高さ一尺餘形状蘭茹ゟ似て葉翅くつき莖紅色頂ゟ
五葉ありて五花と分ち花黄白天敷と同し花紅黄色ス
根横行して節多く連珠の形をなす
赤肉白作連珠大如指頭と云ヘれなり

一種　ふさ大戟

早春宿根より生ず初め横ゟ生し後ゟ立莖甚紅色
長さ五六寸ゟ尺余あり形甘遂と同ど花の側ゟ
枝と生じ大戟ゟ似て潤し根横行して一二尺等
の大さなり

一種　えぎく　莖頂ゟ葉あつまりつきて蔵苞のかしら故ゟ名く

俗ゟ松らんだ甘遂ともいふ白髪根出中ゟ
苗と生ず形状甘遂ゟ似て但小なるのミ夏秋の間
枝ゟ枝て生し一枝の頂ゟ葉族生して蔵苞の如し一説ニ
江戸辺由のあるゟとゝ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

物品忙甘逐翻

一種　萬蘭　甘逐

一種の

物品忙所載之圖

續隨子　あぜそろ

秋月實を下して生ず嫩苗羅漢松きの葉の如くにして青緑色冬を經て春に至り高さ三四尺特生一莖或は四五莖叢生し梢に四枝を分ち一枝二枚を生じ二枚四枚とする葉間に黄蕊色の苞あり大戟の如くにして長大二葉或は四葉叢生し梢に四枝を分ち一枝二枚を生じ二枚四枚とする葉間に黄蕊色の苞あり大戟の如くにして殻に三つ合つ形莢角あり似て刺有一中子の形巴豆に似て小なり北産食すれば口中を刺すが如く後下利す此物の油あるを以て故に此名あるとぞ

あくざさう

狼蓿　　和名　ねむろさう

やめさう　大和　えちごさう　根の形ごぼうに似て毒ある中りて死ぬ　肥後

武州大嶽山中及木曾山中大和の雁馬越及肥後等の深山よ　国宝雷鳥山

あり正三月宿根より生ず苗高陸よ似て深紫色長すれハ

綠色岐の間よ花を開く外紫色形俎竿又

梗梗の如し故よ七つぎさう　江戸

葵よ似て大ひ緑色花皆下垂し根も高陸よ似て筒

多く黄色なり近頃蘭方よて眼を痛するとき先ず根

と傳薬すれ後治験ありと云

用薬忌物ハ中風麻未又妊婦よ用ゆと云

雲實　　和名　だやかつらいでら　大和本草

さるさうハぐら　水戸　遠州　まめいぐさう

常陸の国筑波の麓三河国風平寺　陸奥の深山に多く産す

陸奥山中よ多し藤木よく似て一根叢生し葉ハ合歓よ

また枝幹莖葉悪く逆刺ありて人ゟ觸れて刺ゟ痛り

夏月枝梢ゟ穂をなして花ありて藤の花ゟ似て黄色の其一花ハ蛇滅門草よ似て藍色長

く後莢と結ぶ莢ハ豌豆ゟ似て赤褐色中子ハ莢よ

似たり俗ニ念珠ゟ造る

苧麻　からそ　本草　和名　からそ　俗名　ちょまん　紵　紵麻　紵布　紵衣　紵苧　紵麻　紵麻　紵麻

菊の如くして甚大なり又白色菊に似て肥
黄赤色汁あり秋莖頭より穂となり
小き蒴莢と結ぶ此根黄色ありて黄芩
此物と和の黄芩と名つけて薬用をなるに大なる誤なり大毒
草なり

本草図譜巻之廿二

常山 蔓草類二
蜀漆 やまうつぎのえ 本草蜀漆
へみのちや 和名 おくさぎ

根と常山云苗と蜀漆とを五六尺の小木也 播笠離とをなす
枝幹青色葉小牽にして卵の如く二三月頃枝間より穂を
生して小細花を開く其實三四房一處よつきて稍大荷實の
形の如くして有稜其實甚臭氣あり藤茶の誤よ葉似若而
狭とを弘景云細實黄者呼為雞骨常山とを是なり

種 海州常山 くさぎ 本草和名
漢名一名臭牛樹 牧荒本草 臭梧桐 清異録

たうのさん
壹

人家多く有り灌木なり葉ハ白桐に似てわく夏月枝梢より五瓣の白花を攅生す實ハ碧色蛇葡萄に似て莟紅色ニして花ハ勝れり此樹毒蟲を殺し一名三百頭牛藥湘潭整明

一種△きあまちや 單に あまちやの紋服 監なり

諸國深山の崖などに生ず葉ハ桑葉に似て狹く對生す六月枝梢より花を開く中より碧花あつまり周りに四五瓣の白花と開き日を經て紅色と添形全くがくに似なり葉の味甘

△土常山

一種△きあまちや 胃病を治す 藤茶の說る 海州出者葉似桃葉と云是なり 一名三百頭牛藥 湘潭整明

諸國深山の崖などに生ず葉ハがくに似て狹く對生す六月枝梢より花を開く中より碧花あつまり周りに四五瓣の白花と開き日を經て紅色と添形全くがくに似なり葉の味甘

葉を採蒸して搾青汁を玄飲とするなり四月佛事に用ゐあるなり

一種 へふがく 八重がく 玉繡毬 花唐百詠 胡蝶 廣東 蝴蝶花 壽錦 蜀葵 麻葉粉團 蝦生 心臓 蛺蝶花 上

てまり 甲州 紫繡毬 花譜

一種△がく 繡毬花 小深紫 淺碧 如白色 帶二

山中陰處に生ず葉ハ錦帶花に似て中の小花碧色周の花ハ白色なり日きあまちやに似て中の小花碧色周の花ハ白色なり日と經て稍紅色を帶ぶ又大葉小花ハ紫陽花これハ純白色なり△

一種　きんがさう　さゝふさぎ　玉檀花江戸花戸

諸こ深山幽谷に多く叢生して葉長大なること二三寸長さ一尺許背に白毛ありて葵圓くして珠の如く開くときハ淡紫色の小花あつまり穂となる

一種　玉檀花江戸花戸

是きんがさうの花千瓣なる物なり形状も相似て但毛葉多く倉珠の形となり開くときハ白色なり一花皆千瓣にして牡丹の小さきが如し

一種　ぎんがさう

是ハ草本なり宿根より生ず葉ハがくまだらにて二尖まなりて燕尾の如く葉柄に淡緑色高さ一尺餘梢ゝ八九花を開く形桃花に似て白色なり白蘂あり

一種　こさがく

葉ハ山蘭ひよどりばなに似て圓莖互生す春月宿根より生じて高さ五七寸梢ゝがくの如き花あり淡紅色

一種　白花こさがく

形繍線菊に似たり

越中ヨリ産ス葉ハ[illegible]ク[illegible]テ互生一高サ一二尺
梢ヨ花ヲ開ク形ヲサ[illegible]クト同ジ但白色ナルノミ

一種　さんてうふ 江戸 尼戸　紺斑木ノ上

小木ニシテ[illegible]ク[illegible]クノ如ク葉ハ空疏ニシテ夏月日ヲ
カケテ小サキ紺青色ノ斑アリ故ニ西名ヲ尼ハガクト
同ジ

一種　いえあまちや　小木ニシテ[illegible]ノ如ク葉モ[illegible]ク
キヲ以テ圓芝對生一梢ヨ四雛ノ白花ヲ開ク雛モ[illegible]ク
白芯紫黄點アリ後鈴ノ如キ物ヲ生一又實ヲ結ム

一蒂ヨ二ツノ実リアルモアリ

一種　もつくうだく 尾州
但花四瓣ニテ淡紅色ナリ

形状いえあまちやと同

一種　土莖山 陸鎖ろく　みかどかつら
豆州権現ノ山ヨリ多ク伊豆せんアリ
枝幹青緑色ヲ生ス葉ハ桃葉珊瑚ニ似テ小ク薄ク
四時凋マズ秋ノ末枝間ヨ穂ヲナシ一小白花ヲ開キ
後實ヲ結ヒ熟スレハ白色ナリ

一種　かつらん 江戸 尼戸　前條ノ大葉ニテ大葉

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

櫟朮の如く苑實ハ同じ

藜蘆　日光ら　赤毛ろさう　根ハ椶櫚の如く毛多く故名く

バクサシ朝鮮　ヘルシおりユスアルヒユス　和名ハイツテテースウシルトん蘭

江洲伊吹山野州日光山等州ニ多く生ス　初生三

稜あり長すれい白芨ら　夏月莖を抽て三尺許

末穂ニ至り六瓣三分許ニ開き黒色の小苑を連生す後扇

き莢ニ結ぶ根の味辛苦ニ蕪頌の説ハ葛白藜蘆

是なり薬用すべし

一種　伊吹藜蘆

江洲ニ產する肉ハ薄狹く白芨ニ似て堅ひだあり扇

蕪頌説の水藜蘆なり

一種　あとやぎさう州尾　葉狹長ニして高さ五七寸

穂ハ長く抽て苑緑色なり

一種　ないけいさう苑戸　虫螟のごく州濃

又ひきりの藜蘆とそ云　野州日光山湯本の產多し

方言さらぶーとゝ云　葉ハ大ニして玉簪ニ似て堅く莖を

抽て五生ス高さ三四尺末穂ニ至り五瓣の中白色

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

と開く根堀大すて蒜根ニ似り今俗来の物ハ是ちゐ
へ一先葦されと本草原始のせ荘葱ニ蓼ニ元古説ゐ
藜蘆ともと訓ずるハ誤りなり

一種　羽奥州大沼水邊ニ生ず葉葉ハ少ひけのごとし
同し但穂粗く三五花と開大ニして五瓣皀色白桃
花の如し

水藜蘆　うつくさ　蛆を殺す
胡枝子花ぎよく似て少ゐ小ニ葉一並ニ三葉鹿葦のごとく味
多て狭く深緑色夏月枝梢ニ穂ニなして形又胡
枝子花ぎの如く色淡黄色後狭長き莢と結ぶ毛茸
ありて人衣ニ粘す葉枯るときハ黒色ニ変ず千ん此物形
状的當ニ似ハ雖ども味苦ゑ毒ありて食ふ事ハ従ふ

一種　きまゆ　ヘデイサリユム満
近年蝦夷より来る高さ四五尺葉ハ胡枝子花ぎよく似て長く秋穂
ニ出る形ハ蘭ニ似て小ニ黄色ニして毛茸ありて衣ニ粘す
雄蕊の豆莢ニ似て長く後ハ黄褐色ニなる下ニ生ず

冬月室中ニ藏ス

△益都方物畧記ニ生綿州彰明縣者最良有一子下重及二三両者莖色紫ト云リ是ナリ

附子

漢種ノ物真ノ附子ナリ二月生ス葉ハ石龍芮ニ似テ厚ク又牛扁ニ似テ光澤アリ莖肥大ニシテ秋月高サ二尺許直立ス未タ花ヲ開ク上一瓣左右

二瓣下二瓣ヨリ五瓣マテ色深碧ナリ根ハ形鶏卵ノ如クナルモノヲ附テ疣瘡アリ春附子ノ傍ヨリ附子ヲ生ス其母ハ烏頭ト云フ唐種ノ物ヲ載植シテ附子天雄川烏頭等ヲ採製スベシ古今ノ毒ヲ去ル妙薬汁ヲ浸シ或ハ炮ノ種ノ法ヲ用レモ毒ヲ去ルコトアラズ因テ船来ノ附子ヲ以テ重ネテ予数制スルコト多年文政八酉年ノ秋唐山ノ法ニ従テ考製シタル八肉白色ニシテ白要ノ如ク潔白船来ノ川附ノ如ク是ヲ用レ舟来ノ物ヲ異ニシテ一ニ真ノ毒

容易ならず百日ばかりにて成
一種　川烏頭と称する物あり
かくす葉の尖り多きあり莖叉見えずして一大葉の如し
故に莖蔚の嫩葉の似て大なる莖
直立する莖淡紫色なる根尖りて長し一名漢種の
物を乗べし
天雄　八承曰天雄始種而不生附子側子経年獨長大者
是也と云説も皆従がたしとも予数多附子と栽て試る
附子と栽て真秋莖實あれど必附子を生ぜずと云ふと
なく莖あれど必根堂塵すれど實有す更に理なし
但附子の中まで至りて長大なるを云ふべし
側子　烏頭より附子と生ぜ一所より側子を生ずる
とも莖高言なり一所にて孫に生ぜれとそれ孫に
なり即附子のかなるものなり
漏蘆　北亦側子よりおほくして蓋ある漏ものなり

烏頭　れう　本草　いぶすび　和名

セメシルク　蝦夷

野生して毒強く下品の物なり　かぶとぎく

葉に毛莨に似て毛なく光澤あり　諸國の山陰に多し

濃碧色莖弱く直立せず　形狀附子に似て長し

一種　尾州より來る　紅花色の物なり　附子に記す

一種　鐵色者と云是亦細葉の物　北國にて毒を拔にがすと云附子の形狀に似て毒あり

一種　白花の物とそなの形に似り故に附子記す

と云　此根圓くして尖りなく附子に白花者為上と云り

一種　蝦夷の產にて葉の形常春藤に似て莖又あり　濃緑色光澤あり　莖細く根小なり　土人射罔に用ゆ

一種　荷蘭の書物和忙に黄花の物あり　葉の莖又細く根小なり　黄花の物あり

又甚細き和漢とも黄花の物ありと聞ず

白附子ハ舞なるべし

一花　蔓生烏頭　奥州津輕邊ニアリ　形狀ハ常の烏頭の如くして蔓をなして左へ纏ひ上り根ハ烏頭と異ることなく毒も淡

紫班多色なり　二種あり一種ハ蝦苗より蔓と雖も葉の

虎掌天南星

時珍ハ宋開寶本草の天南星と合て一物とせり然れども本草原始ヨ虎掌と天南星とを分別す又本草當言ヨ南星即虎掌同類異種と云ヒ説ヨ從て二種とすべし

虎掌（和蘭名物語忙）

そんぐの丸移加州

ダラコニチユム

一莖特三一頂ヨ九葉又十一葉ヨ出ル莖ハ紫褐色ニ花中ヨ長キ鬚アリ莖ヨ巻キ一雜蓮花ノ如シ

と雖ヒ根ハ半夏ヨ似テ大ナリ赤色周リヨ圓キ子ヲ附ケ

ておるさう

元ハ一根ノ子ヨリ數多ノ子ヲ生ス故ヨ數多ノ根ヲ發ス故ヨ數種ノ葉ヲ發ス

白南星

葉狹ク長ク莖モ高ク二尺許斑

なく緑色又緑色ニシテ紫斑モ前種ト同ク秋ヨ至テ鬚アリテ虎掌ト同ク

ころもだて紅赤色ナリ

天南星 やまみんぞん

下野日光常陸ノ筑波其餘深山ノ陰地ヨ生ス一根

一莖五緑色ニシテ白斑有リ葉ハ一莖九葉或ハ十一葉

周リ附ク根ナルハ三五葉ナルハ二葉ノ岐ヨリ発ヲ

本筒すべて葉ハ蓮花の如く形ハ虎掌ニ似て緑色
すこし黒色の竪筋あり中ニ圓くして長き莖あり
又先髭ニなりくす黄白色花莖の末ニ實を生す
熟すれハ紅色南五味子ニ似たり地下
ニて生す根大なるハ一寸許徑く扁くして側ニ附くもあり
稀なり蕪頌の説ニ天南星紅色結ニ作穗似石榴子紅色
と云是なり

一種　ゆきもちさう

甲州ニ産す葉三葉一莖形ハ蕙葉の周りニ角歯あり

花ハ白色淡紫ニ青白間道あり藍白相交り
花の口ニ近き所ハ白色外黒色
髭ハ白色潔く糸の如くして長く中ニ雌蕊あり
紙白雪の如し故ニ名つく

一種　へびのだいだち　由也一名　やまさんみやく

葉ハ南星ニ似て葉の周りニ浅き角あり荒ニ肥大ニして
蠶蛭ニ似り真斑及白星ニまじりあり根又南星ニ似て毒強
し此物南星より多きゆえ採て薬店へ出すニハ薬
蒴果ニ解し志説ニ云ところの斑杖なり又薬店ニて甚大なる
ハ蒴蒻なり南星ハ小なり

一種　むすーあぶら

一莖三葉岐を生ずる物ハ岐の間ゟ花を生ず形
天南星ニ似て白色ゟ淡緑色の堅節あり莖白
色鬚なし一花の形鐘ニ似たり故名づく莖葉共ニ
由跋ニ充ル𥫱ハ稿なり
由跋ハ天南星の嫩苗なりと云ふ

蒟蒻　こんにゃく

園圃ゟ栽三四月頃宿根ゟ花を生ず形掌ニ似
ゟて肥大花一瓣屈曲せずして筒あり
莖色中心又紫色の葉長く出ゟ従て垂を生ず
掌ニ似て花ゟ淡紅色ありて斑あり根天南星
ゟて大さ拳の如し一年ニ一個ツゝ食料とす

半夏　おそぐを本草和名　かさがを武迦古岐　からすひしやく京
へおゐて武州　播州粒半夏名産なり諸國野生多し
春月宿根ゟ生ず一根三三莖を生じ一莖三葉中の葉次ゟ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

一種　藨頃（ほたるい）　俗（ぞく）為（い）薬草（やくそう）と云（いう）是（これ）なり　夏（なつ）二莖（にけい）を抽（ぬき）て梢（こずえ）に辮（べん）あり　結実（けつじつ）南星（なんせい）に似（に）て狭小（せばく）一房（ひとふさ）に数（すう）百（ひゃく）の実（み）を生（しょう）ず　皆（みな）緑色（みどりいろ）なり　又（また）茜中（あかねなか）と云（いう）是（これ）なり　夏（なつ）二莖（にけい）を生（しょう）ず

一種　緑色（みどりいろ）にして莖（くき）（筆管色（ふでのくだいろ））の堅節（かたきふし）あるもの

全（まった）く淡萌色（うすもえぎいろ）の物（もの）あり

一種　葉狭長（はせまながく）にして竹葉（たけのは）の如（ごと）く　花（はな）緑色（みどりいろ）の物（もの）あり

藨頃（ほたるい）の説（せつ）に似（に）て竹葉（ちくよう）と云（いう）是（これ）なり　以上皆（いじょうみな）根（ね）小指頭（こゆびのさき）の大（おお）さにして白色味（しろきみ）蒙（こうむ）ー藨茶（ほたるいちゃ）説（せつ）の羊服半夏（ようふはんげ）なり

一種　大葉（おおは）の半夏（はんげ）あり　蠻名（ばんめい）アリユムカルフスフートと云（いう）

第三実（だいさん）ありて睡菜（みつば）に似（に）又慈姑（おもだか）の葉（は）に似（に）て短（みじか）ー花（はな）半夏（はんげ）に似（に）て大（おお）に緑色（みどりいろ）なり

一種　葉（は）きれさき深（ふか）く尾紅色（びこうしょく）の物（もの）あり以上二種（にしゅ）とも

に根大（ねおお）にして母指（おやゆび）の如（ごと）く白色（しろいろ）是（これ）物（もの）の先革（さきかわ）の説（せつ）なり　方書（ほうしょ）及（および）隋方（ずいほう）に齊州半夏（せいしゅうはんげ）と云物（いうもの）よ乾（かん）して用（もち）ふ　但（ただし）米泔水（こめのとぎじる）と以（もって）浸洗乾（ひたしあらいかわ）し用（もち）ふ　若（もし）生姜汁（しょうがじる）を製（せい）するよハ石灰水（いしばいみず）と

蚤休（そうきゅう）　本草図譜巻之廿三　毒草類（どくそうるい）

葉（は）三三層（さんそう）を作（なす）物（もの）和産（わさん）詳（つまびら）ならず　一説（いっせつ）に奥州（おうしゅう）出羽月山（でわがっさん）湯殿山（ゆどのさん）洋出口（ようでぐち）

まがんでんさうと云物（いうもの）あり　一莖（いっけい）に垂輪（すいりん）のあく附（つく）ところ二三

層ありて末ほそく葉緑のごとく末鋭く巨擘
なり
一種　きぬがさそう　加州　越州白山よりおくあり春月宿
根より多く一莖の頭より八九葉車輪のごとく附葉中一
莖を生じ蕊緑色すこし白色の花を
開き後實を結ぶ形浮萍草かるがる
根の形万年青ともに似て赤褐色なり中に細き
一種　名ゐ　阿州　野州日光山越州白山等の
深山よりあり春宿根より生ず
莖三四葉なり葉中より蕊出ること三四莖を生じ中より三瓣の白花
延年さう　園
こつそあり　形きくのごとくして
かざり　信州秋山
こつぴ　同上

角蓮　知ぬれさう　心城国大峯山和州宇田辺ともに多し　唐瘡疱氣甚妙す白癬瘡
小兒瘡積下利を止む瘡風に宜しとぞ
を開き實を結ぶ形川骨の實のごとくにして
山よりあり葉花なり信州玉人根を陰干にして出ず
一種　こぎのこさう　つくで　和さう　野州日光山越州白山等の小草なり
一莖の頭より四葉を附葉中より花あり四瓣白色形忘
れさうなりて狹し
一種　日光雲林院　八葉對生の物なり
一莖八葉花淡黄色四瓣なり以上三種ハ根細くして
白色鬚の如し

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

鬼臼　かさゝき　つりがねさう　同名一　つるがおか

満井の韓家伊兵衛著す處の地錦抄に鬼臼の圖を載
今此物絶てなし故に目撃せざれば予ふ同好
の人に託す森桂輔なる者同國の士田山の陰地
より一種の草を採
予に示す因て圖生ず北天勧
屬す其形一莖一葉頭に数十葉輪の如く附て天南
星に似て葉の下に花を開き下垂す形酸漿かうの實る
が如し花の形あり黄色すこし赤緑色中に
紫黒色の細毛を下垂
紫色黄點ある後白頭翁の如き

す此物葉下に花ありて下垂するを
是眞の鬼臼なり弘景云有二兩種一種有毒最
勝と云物ハ青のかさゝきに似たり
云木律等有二種一云正字通も
おなじと云ときゝ解中るも二種混じたるやうなり
一種
弘景云今馬目毒
一種　とちな

下野日光山及諸國山陰より春月宿根より生ず一莖一
葉其形鳴鳥の羽と張なるが如く莖中より莖立て附燕花葉

又天保九戊年三月資生馬場屋敷天城山より移す翌年親ク死物ノ日撃ナリ

一種。
一種　つきぬきひあふぎ
花黄色　紅色の二品あり
二種　八方ひあふぎ　葉八方に分れ花重ね辮色
黄赤色なり
三種　べにひあふぎ　鳳凰ひあふぎ
種の物と同じく但花紅色す

一種　形状第一に
種の物と同じく但花紅色すて蕊点あり　淺井紅射干　晩淵

このなり未だ枝を分ち六瓣の花を開く黄赤色なり蕊
點あり又雑生のものもあり其葉も此物に似たり
もちのもの
黄色すして點なきもの淺名黄射干　晩淵
葉荒く短く一尺餘

葉よりこみなりて白根莢に似たり
一種　淺名鬼箭草
射干。ひあふぎ　京　からすあふぎ
類なり
獨脚蓮　ごやぐるまさうと云ふ八誤なり　やぐるまさうハ升麻
公狀如黄精根と云藤茶の根似射干一と云是なり　古説
大さ筆管の如く黄白色なり　此物弘景　馬目毒
根の形黄精或ハ射干ひあふぎ　葉ハ似て一莖一句を生す
其三葉を生ずる物ハ甚碎小す　白色二之間を綫圏字を綴ぶ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

一種　白あふみき　葉の形翠雪草ニて花白色
微黄色を帯ぶ

鳶尾　いちろ　ひぜりくさ　和名一名紫蝴蝶
本草の高麗人家に義　葉ハ蝴蝶花ニ似て三四月茎を抽て一尺
餘末ニ花を開く形蕪ニ似て小ニして上ニ向ふ　葉ハ大サ形知母ニ似
三稜ハ小ニして上ニ向ふ　葉ハ大サ形知母ニ似
處なり　陰地ニ多し　根ハ指の大サ　色黄色の
一種　白花の物形状相同じ
一種　蝴蝶花　白花の物形状相同じ　根細鬚　花ニ白斑なり

一種　玉簪　白ひめさやう　苗葉形ひめさやうニ似て稍小く花白色なり
ひめさやう　たうぎがらし　てうせんぎがらし
庭際ニ栽　葉ハ車前ニ似て厚く粉緑色　夏月莖を
抽て穂となす　五瓣の花を開く形百合ニ似て白色な
微深紫の斑と帯ふ　根ハ筋の如くまて数條有り　又黄白斑者あり

一種　大葉の物形葉潤さ五七寸長さ十八寸許
花の形色ともに同し

一種　たまのかんざし　葉大ニして薄く濃緑
一種　花長大ニして純白色なり　酒ニ浸し
一種　花蕾繁多ニして　うるい　野州

處こ山中自生多し　葉ハ事前ニ似て長キ　花形
刻種と同して茎色なり　時珍説ニ　赤有茎者
葉微狭と云又秘傳花鏡ニ　茶壺醬　と云是なり

一種　すゝきがらし
中央白色なり
一種　ぜんそうさうこんきがらし
白色なり以上三種共ニ漢名未詳

一種　きんらん　葉ハ水地黄ニ似て
小く花莖名なり漢名ゆ考

一種　ぎんらん　白花の物なり形状前種と同し　漢名
中白緑筋と云
一種　かんがらし　葉狭く長く重中
さゝぎがらし。葉狭く七の如く又若
葱まゝこぎの葉ニ似て又狭し　花かすかにて莖色なり

一種　白花の物なり葉の形同しく但濃緑色なり
岩ぎがらし
一種　山中岩石の間ニ生ず葉
硬く光澤あり莖ニ紅莖點あり花黄色なり

鳳仙　ハゝこれなひ　わすれなさ　わうせんくわ

又家多く栽　春月實よりを生ず莖肥て節高く夏月高二三尺葉間に紫花地に干はさまりて二瓣又千瓣の物あり先色の物多く又紅色の物或ハ紅白紫相雜るの物等あり又物価忙よ千瓣すくて雜色の物あり是ハ漫名倒影花多く諸説有と云

坐奴乎草　よこくもさう。つゝみ花さう

武州道灌山水湿の地に多し一春月實ろう生す莖ハ鳳仙花に似て紅色葉濶く鋸歯有り夏秋の間花あり形又鳳仙花に似て細し　葉味微酸

種　うつゝうつさ

と云ふもの歟又蕪頴の説に六月開花結實と来其敢て一種

白花の物播州又江戸稀に有

うづらうさ　きつゝあり

相州大山邊に多し一實より生ず莖ハ鳳仙花に似て紅く透徹す葉小薄荷に似て鋸歯稠く繁茂し」の莖

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

おそて鶏形の花なり故よくづらさの名あり 夏
月開く形尖拳草よこぐもさくさくよく似て
皆さゝ紅色實も似て
曼陀羅花 てうせんあさがお 江戸
きちがいなす 漢州
そろあすび 漢州 きさあさがお 江戸
武州まゝ野生なり 他國よりとゝ又貞享年中に唐種
唐種の中に實大にして葉小白桐きに似
てわく莖六茄すに似て緑色高さ三四尺岐の處に花開
く筒様にして五実あり唐人の髷に似たり 若色なり後實
と結ぶ形茄に似て圓て刺あり中の仁又茄に似たり

北實麻葉こびんさうに似て又赤きちがいなすとも云
羊躑躅 きんげ 仏んけつゝじ 映山黄 随筆
葉に似て短く枝梢に五七葉宛輪生して末五瓣萱草花に似ておく黄色なり 北保昇
の説に似桃葉花黄似風花と云是なり
一種 濃紅花の物 形牧相似て但花濃紅色なり
形狀仏んけつゝじとおよ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号　特1-3407　ガラス使用

梗て枝紅無すして硬く本末共り根蔓の如し

花五瓣黄色形石楠に
一種 黒紅つじ 地錦抄に載る所の文字中に渡ると云葉大にして石楠に似て
短く少し大り花も石楠に似たり
山躑躅 知
やまつゝじ

諸處山中自生多し高さ二三尺より一丈に及ぶ葉ハ
圓くして尖りの有り花ハ深紅色ちり時珍説に紅者と云
映山紅有り二紅白深淺皆單葉紅者最佳可賞
是なり
○二種 葉ハ山つゝじに似て花千瓣紅色石榴花の如し
一種 もゝさきつゝじ
三五萼一處に叢て開く花色葉枝梢に三葉つゝ附き

みつでつゝじともいふ時珍説に紅者先開と
一種 よぐひつゝじ
淺紅色なり
○一種 五葉の物と云是なり校正者と云是なり文圃詩疏に一
時珍説に千葉の物と云是なり
○二種 梅花つゝじ 深
似て薄く微毛あり 四月花と開く形梅花に似て
白色紫點あり五月花ある多く五月雨つゝじともいふ
一種 大ようもゝさき 四月花あり淡紫白色
朝鮮つゝじ
一種 大ようもゝさき 四月花あり淡紫白色

一種　山もろさう　白花又雜色のものあり
一種　ふきこうてしじ
　葉八山躑躅より長く毛許厚あり羊躑躅より短し
　四月花あり淡紫色なり千葉も有り△
一種　白花の物あり同時に花あり是白杜鵑花
一種　さつき雜色細辨
　木槿小にして艶の如く五月紅花あり又淺紅色の物
　花曆百詠に杜鵑先後許相去四月と云又全書に杜鵑長止一夫許
　葉八山躑躅より短く毛も細長の雜まて紅色なり
一種　ちよきりとも
　赤色なれとも稍濃し又重辨の物あり又葩の邊淺紅色
一種　きよん

又白花の物紅白雜色の物と松嶋といふ
　四季咲さつき淺紫色の物と松嶋杜鵑家に興
一種　もちつじ
　葉八山躑躅より短く花に淺紫色なり葉始て生ず
一種　きりとも
　高き物八一丈ゝ及ふ細葉まつき歌の如し
一種　ちよきりとも
　赤色なれとも稍濃し又重辨の物あり又葩の邊淺紅色
一種　きよん
　花一重あり是始て曲り淺紅色

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

芫花　毒草類

ゐどりとどき　さらふじは
戸

辺江洲表山の中より
小木なり庭中より栽　早春先節間より発枝四瓣形
瑞香に似て甚色後小葉互に生ず　葉を生ず形巻
耳みくるに似て潤く枝茎互禁褐毛
有　葉大小不一　根の形大
栽に似て軟なり　本草図経に
毒草類中に出ず小木なり

芫花　きさがんひ　山野中

高さ二三尺枝幹繁弱　葉小さく花を
攅て生ず夏月梢に小黄花を開く形黄瑞香に
似てふく後實を結ぶ米粒の如し

一種　ふんにくじん　肥前の雲仙ヶ嶽に生ず
黄楊の如くして圓く枝繁茂山杏に
て濃紅色又白花もあり　葉大小不一
くさふじ　草芫の白
きろ花なるよりてし　芫に地膚に宮文真中に修名と云
葉大小不一

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

一種　おかんぴ　いぬかんぴ　川藩

武州または駿場の産なり生ずる葉は水楊に似て短小文蓂莢に似て厚く光背白色枝幹こうばしく弱高さ一二尺稍叢生す夏月小白色攅聞す形蓂莢に似たり北二種紙を漉くとかんぴ紙と云

醉魚草　ふじうつぎ

深山に生ず小木なり高さ五六尺枝幹黄色まて稜あり葉は金盞草に似て長く對生す夏月梢二尺許穂をなし四瓣淡紅色連開す一花の形四瓣

完花に似たり後實と結ぶ形大麥の如し

莽草　しきみ　和名　くるのき　雲間情　からたぶ　遠州

草の名はあれともたゝ木をなす三州八丈嶋に多し葉は冬青ともちのきに似て頗軟なり冬凋ず四月花あり七八瓣ありて淡黄白色形蜘蛛梅に似たり後實と結ぶ七八角ありて形大茴香に似たり故に八角茴香に偽る北實毒あり用ゆべからず

菌茅　みやまたちそう

豫國の山中に生ず葉は冬青ともちのきに似て早春穂と

…て長ものの如く五瓣白色橋元の…
の萼にて結ぶ南燭より大なり又細葉の物あり

一種　常葉灌木の物なり葉互生紅色

實小紅色なり

一種　つるもの　葉小にして互生
長く蔓の如く冬月死に開く　濃緑色の小花を開く

石龍芮　一名油灼々　和名野諸　俗呼ごぜんかうべのきりけ
たがらし　和名ごぶあせう　江戸
随地多有水邊之物冬月生葉小而島頭如ぎく
冬不死春月高さ一二尺梢ごとに花あり五
瓣黄色　梅花に似て黄色光澤あり後實を結ぶ
圓くして長く楊梅に似て緑色なり莖葉搓み傷れば
乍腥

一種　武州豊嶋郡　和名石龍芮
生ず葉甚小くして光澤あり春宿根より
光澤ある形石龍芮に似て小さく高さ三四寸五瓣黄色

毛莨　おなもの如くして　かはみつむ　播州
漢名石水胡椒　回々蒜　蝎尾草　(又上椒草)
石龍芮と同處に生ず　葉ハ石龍芮に似て毛あり　花五瓣黄色　實ハ圓くして　馬蹄の如く又菟葵子の
味辛　(葉の物ハ花ホー)
一種　山生の物ハ葉圓く　毛なくして　花五瓣黄色　實ハ圓くして　楊梅に似て　色
一種　きんわうげ　葉ハ石龍芮に似て毛あり　花五瓣黄色　實ハ山生の物と同ク
花千瓣珠を菊きんめの如し

一種　ぎんわうげ　葉ハ山生の物と同ク　但白色銀の如く背ハ黄色なり
一種　きんむしさう　(江州伊吹山に多し)　葉ハ烏頭に似て　花又多く
深緑色一根數葉を生ず　夏月莖を抽て高さ二三尺　末枝とハなち五瓣の蕾ハ淡紫色と開く　蘂長く
金絲桃びやうやぎに似たり　實ハ蕚と共に生ず　粘液あり
牛扁　ふいごんさう　(ニロトニ有　蘭)　(又信州勢州經峯)
春月宿根より生ず　葉ハ烏頭に似て大く　微毛ありて光澤なく
白斑點あり

寄蘭物品
類四種
ラニユンクルス
毛茛類四種

秋月高さ二三尺人穂をなして花あり濃紫色形伶人の如し故に名つく後實を結ぶ形附子に同し又言保年中朝鮮より奉花と名つけ渡せり物ハ蛇黄白花なる物なり根の形ハ胴来奉花のあくなれとも實ハ羅紋紋糸とやうなれと

八并扁なり二種ともに地梭の如し

夏月實より生ふ葉細く長く一節に四葉對生して形蓬子菜に似て軟なり秋月莖高一尺許末穂に

丹波國宇津根又越後の水邊に多し

なり穂長さ一二寸形地楡に似て細く細小の濃紫色花あり

地物取後土人採て乾し置て煎じて洗ふに能死す因て今茲を充つ

水竹葉錦附

いかくさ　いかりくさ

處〻水側に多し春實より生ふ葉ハ鴨跖草に似て狹く形小竹の如くして地に伏す夏月三瓣の濃紅花を開く

蓼麻　一名蘞麻小説字彙

いらくさ　いらくさ

處〻山野陰地に生ふ形牡蒿の苗と同し鋸歯粗く葉毛刺あり穂ハ蕎麦の穂の如くして長く垂れハ甚痛むなし

のこぎりくさ　江戸

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

占斯ハらの誤ならん　一種　日光及木曾山中ニハ狹長葉のもの有り　一種　むらごそんま　山野私ニ作り宿根より生ず　圓荒エ乃至一葉ハ苧麻ニ似て小く夏月枝梢ニ穗となして短く枝有り花細小なり實ハ蔓ニ似たり此物も苧麻の餘よりむらごハ觸れハ痛むものと苧麻の如し

格注草　そぐ　くらそろ　そぐ　充ク古說ニ載ル國山中ニあり四時常ニ青し根ハ硬く骨碎を補ふ細し葉ハ硬くして木の如く繁黑色節間ニ二葉對生し葉ハ嚴ニ似て堅く光澤有り北地ハ白色なり一年一層を生じて四五尺ニ及ぶ　一種　あしだ　根莖ハ硬く骨碎ふらそろの如く但委ク少なく繩倒掛草ニ作て堅し

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

海芋　ケヌキ　信州野州等ニ自生ス水
澤中ニ生ス根ハ宿根ヨリ生ズ葉ハ澤瀉ニ似テ長大長キ
物ニ三尺短キ物一尺許夏月葉間ヨリ苞ヲ開ク蓮苞
ノ一瓣ノ如クニシテ白色内形掌ノ如クニシテ尖口ヨリ
ニ似テ堀長シ根味菱口ニ似テ大毒アリ根ハ白芋
一種　ざぜんさう　ミクリザゼン　翁　エレケレベキナ　蝦夷
（名古屋ニ出ス）　江州伊吹山越中出羽等ニアリ正二
月宿根ヨリ先苞ヲ生ズ白天鵞絨ノ如キ大ニシテ萎
色形觀音ノ圓光ノ如ク又蓮華坐禪ノ形ニ

似タリ又白苞ノ物アリ
一種　ヤマシキシソンゲ　ストリユム　翁　蝦夷　此種元琉球ヨリ
來ルトイフ春月宿根ヨリ生ズ葉芋ニ似テ小ク三尖アリ
夏月苞ヲ開ク一瓣深紫色悪臭アリ形芋ノ如クニシテ
小ク根ハ委陀ヨリ細ク又芋ニ似テ小ナリ　時珍説
ニ小者谷野芋トイヒ足ナクベールコロイトノ第三種
ワートルスペ　持ノ薬物加比　載處ノ圖
一種　まんぢゅ　迎年方ノ如ク江戸ヘ來ル葉
白芋ト同ク根去上ニ出テ掬ノ如ク綠色夏月葉間
ヨリ苞ヲ生ズ形白芋ニ似テ横白色葯長シ　時珍説ヨ
（蘭ノ草ヲ云ヘリ中土ニ此物アリ）

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

宋祁海芋賛云木芋芋葉擬睡般無尻と云是なり

種　栽培の術

透山根　錦竹

れんぜう　ごくせう

えみわさび　そんめいちく　共に同上。奥州二本松州遠足の池

多摩川和泉村

田川清泉寺境内　皆あり高根より生ず葉ハ白並ひて稜

く又蘿蔔葉のごとく而て大なり夏月莖ハ高さ二三

尺末ニ至りて傘状となりて開く形又蕷芋ニ似たり

葉ハ水芹等

に似たり根ハ緑色大さ大母指のごとく節ありて竹

の如し

△名苅草と誤て採食い激く毒ありて殺す人有

一夜とすぐれハ癪瘕ゝと云是れとも其葉の蹄大ニ似る

と云又其莖葉を煮て鍋て積聚

を治すと云物なりと云

△文化年中

味辛く香気有之此根咎義ニして

腹中頃悶して死する者五七人ありと

いれハ根大なる物ハすぐく又蔓蜀中山谷草類蘇蕪など

ハ其葉無ハ即茎節ニ

生ずるハ根のことくにして

ハ即ち前の

根形状一般只是入須

苔不可誤

玩誤て此根を食ハゝ

倶に痛て

死人ありと云

△名野葛

鈎吻

つたうるし　野州日光山上総の

加野山等ニあり蔓草ニして葉ハ川芎ニ似て蔓

冬凋す細藤ニして夏月枝梢穂ニなり十吉花を開き

ハ黄を帯ぶ莖葉汁あり人ニ毒を中れハ漆瘡の如し

一種　ごくろうぎ　かてらうぎ　むまあらひうろぎ　市郎兵衛ぃ

ろ〜　相州金澤、武州練馬の山中より出る一根叢生す葉ハ正精澤種蓼精に似て方莖黄色を帯ふ赤色を圓〜一人譽て食ハ即死す是弘景の説なり黄精而莖葉當歸に似黄色初生極類黄精故人采多惑之遂致死生之又一云

是なり。（又奥州越州に凡そ毒草あり北土にて俗に是を食ひ死すと云是悔る都鄙の人皆知れり又いもゝやぐともゝ云）

一種　なべわりさうもゝ一葉鍋に入小麦口中に含ミ噛割て捨ると云又一葉口中に入れ故ゝ名付くともゆへり

深山の陰地に宿根より生ず黄華葉萇黄精等に似たり

葉ハ牛尾菜に似て短く一葉四五葉春月葉間より細莖を生し四五の小花を開き下垂す緑色なり

根ハ塊なく粗き鬚ありて淡黄色なり是物雷敩説

こゝろの一種有毒小草と云是なり

特1
3407

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407　ガラス使用

特1
3407

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』請求記号 特1-3407
ガラス使用